

前回定例会（平成17年8月3日）以降の行政の動き

平成17年9月7日
原子力安全・保安院
原子力安全地域広報官

1. 実用発電用原子炉に対する保安検査結果等（平成17年度第1四半期）の原子力安全委員会への報告（平成17年8月25日）

施設への立入り、物件検査、関係者へのインタビュー又は聞き取りにより検査を実施した結果、すべての発電所（17原子力発電所）において、保安規定に違反する事項は認められなかった。

2. 原子力発電所の高経年化対策について（高経年化対策検討委員会報告）（平成17年8月31日）

昨年8月9日の関西電力（株）美浜発電所3号機の事故を契機に、従来の高経年化対策の検証と対策の充実について検討するため、昨年12月より当委員会において検討を行ってきた。抽出された課題に対し、ガイドライン整備や長期保全計画の実施状況確認等透明性・実効性の確保、確率論的安全評価による「リスク情報」についての研究など技術情報基盤の整備、組織風土の劣化等への対応、高経年化対策に関する説明責任の着実な履行など高経年化対策を充実するための施策の推進が必要とされた。

3. 東北電力（株）女川原子力発電所における宮城県沖の地震時に取得されたデータの分析・評価について（平成17年9月2日）

平成17年8月16日の宮城県沖の地震時に女川原子力発電所で観測されたデータが、東北電力（株）から公表。保安院としては、今回の地震による女川原子力発電所各号機の安全上重要な設備の耐震安全性の詳細評価、今回の地震で観測された観測波の岩盤表面の応答スペクトルが周期によっては基準地震動の応答スペクトルを超えることとなった要因の分析・評価について東北電力（株）に報告を求めた。

4. 平成17年度第2回保安検査（平成17年9月5日～）

柏崎刈羽原子力発電所における保安規定の遵守状況について検査を行う。

5. 原子力安全・保安院人事異動（平成17年9月6日）

原子力安全・保安院長	広瀬 研吉	（独立行政法人物質・材料研究機構理事）
原子力安全・保安院次長	寺坂 信昭	（官房審議官（経済産業政策局担当））
原子力安全・保安院審議官	薦田 康久	（官房地域経済産業審議官）
保安院首席統括安全審査官	平岡 英治	（保安院原子力安全技術基盤課長）
官房総括審議官	松永 和夫	（原子力安全・保安院長）
退職	三代 真彰	（原子力安全・保安院次長）
退職	山下 弘二	（保安院首席統括安全審査官）

以上

